

28P1-pm332

浅草薬剤師会が行っている『薬と健康の週間』の活動及び役割

○平田 紀美子^{1,2}, 勝又 聖夫¹, 稲垣 弘文¹, 坂口 眞弓², 川田 智之¹(¹日本医大,
²浅草薬剤師会)

【目的】浅草薬剤師会では毎年10月17日～23日の「薬と健康の週間」の期間中に、会員40名ほどが参加し、街頭行事として、薬の飲み合わせや相互作用等の薬相談や生活習慣、健康に関する相談や質問に応じている。また、希望者には血圧・体脂肪・骨密度等を測定し健康チェックを行っている。更に、飲料水試験や環境測定(大気試験、騒音試験等)も実施している。その他に、各薬局の店頭では「薬の無料相談」を実施し、一般用医薬品の販売時に受けた相談業務に関するデータ及び事例収集も行っている。この街頭行事は20年以上実施しているが、今回は演者が参加した2002年～2006年の5年間の来場者の内訳と、2005、2006年の来場者の薬や健康相談の内容について解析した。

【方法】

- 1 各薬局・一般販売業の店頭で「薬の無料相談」の内訳
- 2-1 薬の飲み合わせや相互作用などの薬に関する相談や生活習慣、健康に関する相談を内容別、年代別に解析した。
- 2-2 来場者の内訳(地区別、男女別、年代別)を分析

【結果・まとめ】

相談内容は医療用医薬品についての質問が最も多かった。相談者の年代は60-70代が最も多かった。

この街頭行事には毎年来場している高齢者も多くみられ、この機会を自分の健康チェックとしている方もいた。この行事が、薬剤師が日頃、薬に関する事柄だけでなく、健康で快適な日常生活が送れるよう、食事や運動等の生活習慣や生活環境など、健康全般に関わるアドバイスを行う役割を担っていることを区民に対し、PRできる場であると思われた。